ロケットの部品に係る安定供給確保を図るための取組方針（案）に関する意見公募の結果について

令和８年３月１２日
経済産業省
製造産業局
宇宙産業課

経済産業省では、経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律に基づく、ロケットの部品に係る安定供給確保を図るための取組方針（案）について、御意見を募集いたしました。

お寄せいただいた御意見について、以下のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。貴重な御意見をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

記

１．意見募集期間
令和８年１月 30 日（金）～令和８年２月 28 日（土）

２．意見提出方法
電子政府の総合窓口「e-Gov」 の意見提出フォーム、電子メール、郵送

３．寄せられた御意見数
２件
※２．の提出方法による提出の件数を計上したものです。

４．お寄せいただいた御意見の概要と御意見に対する考え方
別紙のとおり

５．問い合わせ先
経済産業省製造産業局宇宙産業課

以上

（別紙）

経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律に基づく、ロケットの部品に係る安定供給確保を図るための取組方針（案）に関して、お寄せいただいた御意見及び御意見に対する考え方は以下の通りです。

お寄せいただいた御意見	御意見に対する考え方
部品を適切に扱う、加工出来る人材(人財)の育成については、本パブリックコメントに附されている取り組み方針が確定後に、人材(人財)の育成について新たにガイドラインのような方針提示があるとの理解で良いか確認したい。 今のままでは部品確保だけするも、人材(人財)がいない、仏作って魂入れずとなりかねない危惧がある。	本取組方針に関して新たに人材育成のガイドラインを策定する予定はございませんが、供給確保計画の認定にあたり、安定供給の確実性を確保する観点から、実施体制における人材面や技術面も含めて確認を行います。
ロケット産業の重要性は明らかであり、本取組は我が国の宇宙利用・産業競争力・安全保障の観点から国民の利益に資するものと理解します。 一方で、以下の課題が存在すると考えるため、それぞれ指摘のうえ意見を述べます。 １．対象部品（フェアリング・固体ロケットモータ・燃料供給系部品）の選定理由の明確化 ２．官需中心の産業構造では競争力が育たず、国外需要の取り込みと競争環境整備が不可欠 ３．国産化を進める場合でも海外商流（輸入チャネル）維持を明示すべき ４．生産能力に加え、エンジニアリングチェーン全体の強化が必要 １．対象部品（フェアリング・固体ロケットモータ・燃料供給系部品）の選定理由の明確化 【該当箇所】 第１章 第１節（2）1 外部依存性 第１章 第１節（1）1 重要性 その他 【意見内容】	いただいた４点の意見に対して、下記のとおり回答いたします。 １．他の重要物資と同様に、本取組方針において支援の対象とするロケットの部品は、安定供給確保を図る上での必要性やサプライチェーン上の状況等を踏まえて、内閣官房が開催する有識者会議での議論を経て、要件を満たす品目のうち、特に緊要性の高い品目を対象としています。御意見を踏まえながら、取組方針第２章第３節にも記載のとおり、引き続きサプライチェーンの課題について不断の情報収集・検証に努めてまいります。 ２．経済安全保障推進法に基づく特定重要物資の安定供給確保の取組は、国民の生存や国民生活・経済活動が深く依拠する重要物資で、外部依存による供給途絶の蓋然性が存在するという要件を満たす品目の国内における安定的な供給確保を目的とするものです。安定供給を持続的に確保するためには海外需要にも目を向け、国際競争力を有する供給体制を確立することが重要です。そのため、本取組方針においても、必要に応じて海外需要を獲得すべきことを明記しております。

本取組の対象とする部品をフェアリング、固体ロケットモータ、燃料供給系部品の3点に限定する妥当性を明確に示すべき。 【理由】 第1章第1節（2）1では当該3部品を外部依存性の高い部品として例示しているものの、その他の部品の外部依存度が体系的に比較・評価された記述がない。また第1章第1節（1）1ではロケット部品一般について「サプライチェーンの代替や新規立ち上げには数年を要し、その機能を直ちに代替可能な製品を調達することは困難である」と記載されている。外部依存が相対的に低い部品でも供給途絶リスクが小さいとは一概に言えないため、外部依存度・代替可能性・調達リードタイム等の比較基準や分析方法を明示し、選定根拠の透明性を高めるべき。 -- ２．官需中心の産業構造では競争力が育たず、国外需要の取り込みと競争環境整備が不可欠 【該当箇所】 第1章第２節 その他 【意見内容】 ロケット部品の安定供給を図るには、官需中心のクローズドな構造では競争力の持続的向上が難しい。海外需要の獲得や企業間競争が生じる市場環境の整備を、方針案に明記すべき。 【理由】 財務省広報誌『ファイナンス』（2024年1月号，P.52）は、筆者の私見であるとの断りがありながらも、防衛産業の課題として官需中心・低利益率・競争が起きにくい構造を指摘し、「企業間の競争が起きるような環境を整えていくことが重要」と指摘している。産業特性が近いロケット部品産業でも、市場競争の仕組みを入れない限り、コスト・品質・技術更新のモメンタムは弱くなる。海外需要の取り込みを促す施策を基本方針の中に明示的に位置付けるべき。	３．ロケットの部品の安定供給確保に係る取組は、海外供給元からの調達ルートの維持を前提に、その供給途絶のリスクに備え、安定供給確保に資する国内生産基盤の確立・強化を目指すものです。その上で、取組方針は、供給側の取組を記載するものとして、海外の商流の維持を含め、需要側の民間事業者の判断については記載していないところです。 ４．経済産業省では、経済安全保障推進法に基づく安定供給確保の取組に加え、研究開発支援等のその他の経済産業施策も含めて一体的に取組を進めることで、宇宙産業全体のさらなる強化を目指しています。ロケットの部品の安定供給確保において、御指摘いただいた製造に係るライフルサイクル全体の能力強化の必要性は認識しており、本取組方針第２章第３節でも、研究開発施策との適切な連携を必要に応じて図るべきことを明記しております。

-- ３．国産化を進める場合でも海外商流（輸入チャネル）維持を明示すべき 【該当箇所】 第１章第２節 その他 【意見内容】 国産化を進める際にも、海外サプライヤーとの商流（輸入チャネル）を維持する方針を明記すべき。 【理由】 ロケット部品は海外の供給者が限定的で、国内生産が事故・改修・品質問題等で一時停止した場合、輸入が重要なバックアップとなる。国産化のみを強調して海外商流を細らせると、再輸入の再開に時間とコストがかかり、リスクがむしろ増大する。『ファイナンス』記事が示す複数サプライヤーの併存（併社発注）の考え方は、国産＋輸入の複線化による強靭性向上にも通底する。リスク分散（冗長性）を政策設計に織り込み、輸入ルートの“生存”を確保するべき。 -- ４．生産能力に加え、エンジニアリングチェーン全体の強化が必要 【該当箇所】 第１章第２節 その他 【意見内容】 研究開発→商品企画→設計→生産準備→生産→保守・アフターサービスまで、エンジニアリングチェーン全体の能力強化を明示的に盛り込むべき。 【理由】 ロケット部品は高度な品質保証・解析・試験・設計力を要し、前後工程の技量が不足していれば、設備投資だけでは安定供給は成立しない。方針案は主として生産設備や供給能力に焦点が当たっているが、人材・設計/試験インフラ・品質マネジメント体制などライフサイクル全体の底上げが不可欠。供給の	

“量”だけでなく“質”と“継続性”を担保する観点を施策化すべき。	